

ときがわ町水道事業経営戦略（改定版）追加及び修正箇所

〈経営の健全性・効率性に係る指標〉

- …… ときがわ町
- …… 類似団体平均＝給水人口1万人以上、1.5万人未満の事業者
- 【 】 …… 令和4-3年度全国平均

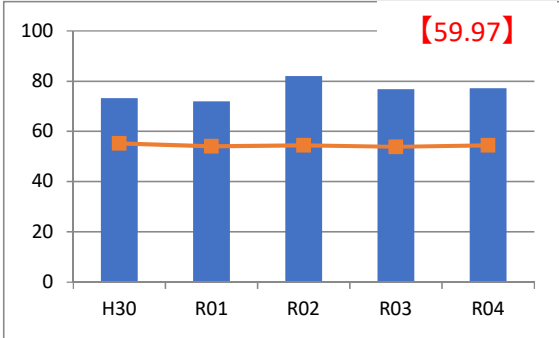
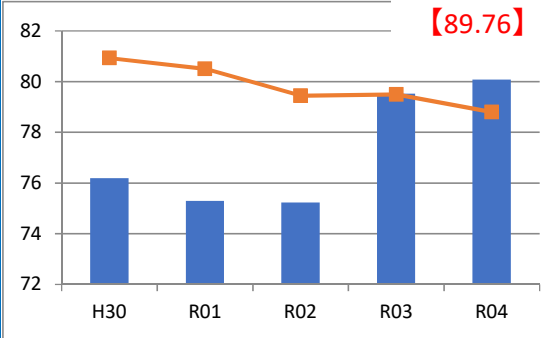
※類似団体平均及び全国平均は、令和3年度の統計値です。

項目	①経常収支比率	②累積欠損金比率																																				
指標の意味	給水収益や一般会計からの繰入金等の収益で、維持管理費や支払利息等の費用をどの程度賄えているかを表す指標です。100%以上ならば経常黒字です。	営業収益に対する累積欠損金（営業活動により生じた損失で、前年度からの繰越利益剰余金等でも補填することができず、複数年度にわたって累積した損失のこと）の状況を表す指数です。																																				
算出式	$\frac{\text{経常収益}}{\text{経常費用}} \times 100$	$\frac{\text{当年度未処理欠損金}}{\text{営業収益}-\text{受託工事収益}} \times 100$																																				
ときがわ町の状況																																						
	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H30</th> <th>R01</th> <th>R02</th> <th>R03</th> <th>R04</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ときがわ</td> <td>101.93</td> <td>102.11</td> <td>104.69</td> <td>103.31</td> <td>109.72</td> </tr> <tr> <td>平均値</td> <td>108.76</td> <td>108.46</td> <td>109.02</td> <td>107.81</td> <td>107.21</td> </tr> </tbody> </table>		H30	R01	R02	R03	R04	ときがわ	101.93	102.11	104.69	103.31	109.72	平均値	108.76	108.46	109.02	107.81	107.21	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H30</th> <th>R01</th> <th>R02</th> <th>R03</th> <th>R04</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ときがわ</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> </tr> <tr> <td>平均値</td> <td>7.48</td> <td>11.94</td> <td>11.00</td> <td>8.86</td> <td>7.65</td> </tr> </tbody> </table>		H30	R01	R02	R03	R04	ときがわ	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	平均値	7.48	11.94	11.00	8.86	7.65
		H30	R01	R02	R03	R04																																
ときがわ	101.93	102.11	104.69	103.31	109.72																																	
平均値	108.76	108.46	109.02	107.81	107.21																																	
	H30	R01	R02	R03	R04																																	
ときがわ	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00																																	
平均値	7.48	11.94	11.00	8.86	7.65																																	
評価	黒字を維持していますが、料金収入の不足を一般会計からの補助金で補てんしている状況に変わりはありません。	累積欠損金は生じていません。																																				
課題	料金改定は実施したものの、給水収益の減少が見込まれることには変わりはありません。更なる経費削減に取り組み、効率的な経営を継続する必要があります。	①経常収支比率と同様に更なる経営努力をし、欠損金が生じないよう健全経営を行う必要があります。																																				

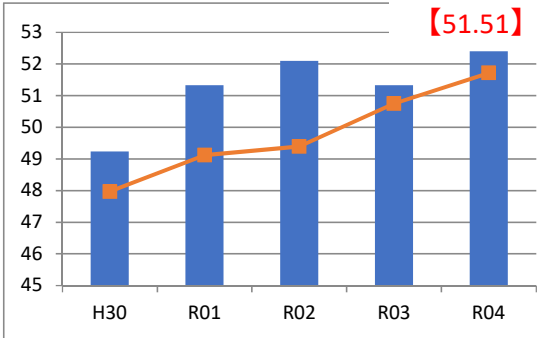
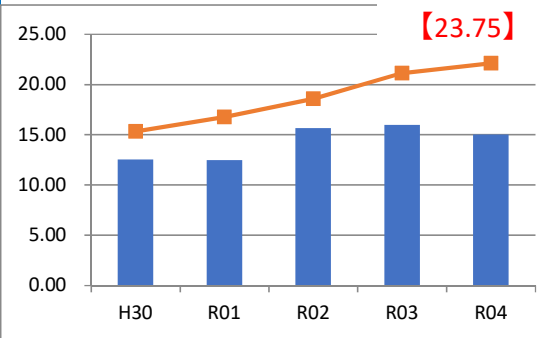
項目	③流動比率	④企業債残高対給水収益比率																																				
指標の意味	短期的な債務に対する支払能力を表す指標です。 100%以上であることが必要です。	給水収益（料金収入）に対する企業債残高の割合であり、企業債残高の規模を表します。																																				
算出式	$\frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}} \times 100$	$\frac{\text{企業債残高}}{\text{給水収益}} \times 100$																																				
ときがわ町の状況																																						
	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H30</th> <th>R01</th> <th>R02</th> <th>R03</th> <th>R04</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ときがわ</td> <td>434.38</td> <td>415.07</td> <td>349.15</td> <td>235.61</td> <td>210.98</td> </tr> <tr> <td>平均値</td> <td>359.70</td> <td>362.93</td> <td>371.81</td> <td>384.23</td> <td>364.30</td> </tr> </tbody> </table>		H30	R01	R02	R03	R04	ときがわ	434.38	415.07	349.15	235.61	210.98	平均値	359.70	362.93	371.81	384.23	364.30	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H30</th> <th>R01</th> <th>R02</th> <th>R03</th> <th>R04</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ときがわ</td> <td>350.00</td> <td>327.56</td> <td>326.64</td> <td>338.26</td> <td>278.28</td> </tr> <tr> <td>平均値</td> <td>447.01</td> <td>439.05</td> <td>465.85</td> <td>439.43</td> <td>438.41</td> </tr> </tbody> </table>		H30	R01	R02	R03	R04	ときがわ	350.00	327.56	326.64	338.26	278.28	平均値	447.01	439.05	465.85	439.43	438.41
		H30	R01	R02	R03	R04																																
ときがわ	434.38	415.07	349.15	235.61	210.98																																	
平均値	359.70	362.93	371.81	384.23	364.30																																	
	H30	R01	R02	R03	R04																																	
ときがわ	350.00	327.56	326.64	338.26	278.28																																	
平均値	447.01	439.05	465.85	439.43	438.41																																	
評価	100%を大きく上回っており、支払い能力には問題ありません。	類似団体と比べ低い数値となっていますが、老朽施設の更新のため企業債借入額は今後増加していく可能性があります。																																				
課題	施設更新事業増加に伴う、企業債償還額が増加しているため、流動負債が増加しています。そのため、流動比率も低下傾向にあります。	給水収益の増加が、比率の減少につながっています。																																				

〈経営の健全性・効率性に係る指標〉

項目	⑤料金回収率	⑥給水原価																																				
指標の意味	給水に係る費用が、どの程度給水収益（水道料金）で賄えているかを表した指標であり、料金水準等を評価することが可能です。	有収水量 1 m <sup>3</sup> 当たりについて、水を供給するためどれだけの費用がかかっているかを表します。																																				
算出式	$\frac{\text{供給単価}}{\text{給水原価}} \times 100$	$\frac{\text{経常費用-(受託工事費+売却原価-附帯事業費長期前受金戻入益)}}{\text{年間有収水量}} \times 100$																																				
ときがわ町の状況																																						
	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H30</th> <th>R01</th> <th>R02</th> <th>R03</th> <th>R04</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ときがわ</td> <td>74.84</td> <td>74.24</td> <td>76.25</td> <td>74.73</td> <td>82.20</td> </tr> <tr> <td>平均値</td> <td>95.81</td> <td>95.26</td> <td>92.39</td> <td>94.41</td> <td>90.96</td> </tr> </tbody> </table>		H30	R01	R02	R03	R04	ときがわ	74.84	74.24	76.25	74.73	82.20	平均値	95.81	95.26	92.39	94.41	90.96	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H30</th> <th>R01</th> <th>R02</th> <th>R03</th> <th>R04</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ときがわ</td> <td>220.60</td> <td>223.00</td> <td>214.89</td> <td>221.03</td> <td>228.47</td> </tr> <tr> <td>平均値</td> <td>189.58</td> <td>192.82</td> <td>192.98</td> <td>192.13</td> <td>197.04</td> </tr> </tbody> </table>		H30	R01	R02	R03	R04	ときがわ	220.60	223.00	214.89	221.03	228.47	平均値	189.58	192.82	192.98	192.13	197.04
		H30	R01	R02	R03	R04																																
ときがわ	74.84	74.24	76.25	74.73	82.20																																	
平均値	95.81	95.26	92.39	94.41	90.96																																	
	H30	R01	R02	R03	R04																																	
ときがわ	220.60	223.00	214.89	221.03	228.47																																	
平均値	189.58	192.82	192.98	192.13	197.04																																	
評価	料金収入が少ないため、類似団体と比べ低い数値で推移しています。	経営規模に比して企業債残高が大きいことによる私利負担や、施設多数による減価償却費の負担、受水費等が収益の圧迫要因になっています。																																				
課題	料金改定実施により、料金収入が増加したため、比率が上昇しました。しかしながら、需要の低下は避けられないことから、長期的には減少の方向となる懸念があります。	電気料高騰による動力費の増など、一時的な要因による増ではありますが、今後も引き続き、細かな経費削減の積み重ねが必要になります。																																				

項目	⑦施設利用率	⑧有収率																																				
指標の意味	一日配水能力に対する一日平均配水量の割合であり、施設の利用状況や適性規模を判断する指標です。	施設の稼働が収益につながっているかを判断する指標です。																																				
算出式	$\frac{\text{一日平均配水量}}{\text{一日配水能力}} \times 100$	$\frac{\text{年間総有収水量}}{\text{年間総配水量}} \times 100$																																				
ときがわ町の状況																																						
	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H30</th> <th>R01</th> <th>R02</th> <th>R03</th> <th>R04</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ときがわ</td> <td>73.22</td> <td>71.90</td> <td>82.00</td> <td>76.80</td> <td>77.12</td> </tr> <tr> <td>平均値</td> <td>55.22</td> <td>54.05</td> <td>54.43</td> <td>53.87</td> <td>54.49</td> </tr> </tbody> </table>		H30	R01	R02	R03	R04	ときがわ	73.22	71.90	82.00	76.80	77.12	平均値	55.22	54.05	54.43	53.87	54.49	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H30</th> <th>R01</th> <th>R02</th> <th>R03</th> <th>R04</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ときがわ</td> <td>76.18</td> <td>75.29</td> <td>75.23</td> <td>79.52</td> <td>80.07</td> </tr> <tr> <td>平均値</td> <td>80.93</td> <td>80.51</td> <td>79.44</td> <td>79.49</td> <td>78.80</td> </tr> </tbody> </table>		H30	R01	R02	R03	R04	ときがわ	76.18	75.29	75.23	79.52	80.07	平均値	80.93	80.51	79.44	79.49	78.80
		H30	R01	R02	R03	R04																																
ときがわ	73.22	71.90	82.00	76.80	77.12																																	
平均値	55.22	54.05	54.43	53.87	54.49																																	
	H30	R01	R02	R03	R04																																	
ときがわ	76.18	75.29	75.23	79.52	80.07																																	
平均値	80.93	80.51	79.44	79.49	78.80																																	
評価	一般的には高い数値であることが望めます。類似団体と比べ高い数値で推移しています。	類似団体とほぼ同等の数値にまで戻しましたが、有収率向上のため、より一層の対策を行う必要があります。																																				
課題	将来の水需要の減少に対応するため、適切な規模のダウンサイジングも視野に入れる必要があります。	ときがわ町の重要課題ととらえ、改善していく必要があります。																																				

〈老朽化の状況に係る指標〉

項目	①有形固定資産減価償却率	②管路経年化率																																				
指標の意味	有形固定資産のうち、償却対象資産の減価償却がどの程度進んでいるかを表す指標で、資産の老朽度合を示しています。	法定耐用年数(40年)を超えた管路延長の割合を表す指標で、管路の老朽度合を示しています。																																				
算出式	$\frac{\text{有形固定資産減価償却}}{\text{有形固定資産のうち償却対象資産の帳簿原価}} \times 100$	$\frac{\text{法定耐用年数を経過した管路延長}}{\text{管路延長}} \times 100$																																				
ときがわ町の状況																																						
	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H30</th> <th>R01</th> <th>R02</th> <th>R03</th> <th>R04</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ときがわ</td> <td>49.23</td> <td>51.33</td> <td>52.10</td> <td>51.33</td> <td>52.40</td> </tr> <tr> <td>平均値</td> <td>47.97</td> <td>49.12</td> <td>49.39</td> <td>50.75</td> <td>51.72</td> </tr> </tbody> </table>		H30	R01	R02	R03	R04	ときがわ	49.23	51.33	52.10	51.33	52.40	平均値	47.97	49.12	49.39	50.75	51.72	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H30</th> <th>R01</th> <th>R02</th> <th>R03</th> <th>R04</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ときがわ</td> <td>12.52</td> <td>12.46</td> <td>15.64</td> <td>15.98</td> <td>15.02</td> </tr> <tr> <td>平均値</td> <td>15.33</td> <td>16.76</td> <td>18.57</td> <td>21.14</td> <td>22.12</td> </tr> </tbody> </table>		H30	R01	R02	R03	R04	ときがわ	12.52	12.46	15.64	15.98	15.02	平均値	15.33	16.76	18.57	21.14	22.12
		H30	R01	R02	R03	R04																																
ときがわ	49.23	51.33	52.10	51.33	52.40																																	
平均値	47.97	49.12	49.39	50.75	51.72																																	
	H30	R01	R02	R03	R04																																	
ときがわ	12.52	12.46	15.64	15.98	15.02																																	
平均値	15.33	16.76	18.57	21.14	22.12																																	
評価	類似団体とほぼ同等の数値ではありますが、今後は老朽化が進み、数値は上昇傾向になります。	一時的な落ち着きを見せていますが、短期的な状況であり、中長期的に更新需要が増大することは間違いありません。																																				
課題	更新が進むにつれて、新たな減価償却費が増加していきます。経常収支を圧迫する懸念もあることから、計画的な更新に取り組む必要があります。	第1期拡張により布設した管路が、間もなく耐用年数に達することから、更新需要が飛躍的に増加します。効率的な更新が必要です。																																				

項目	③管路更新率																		
指標の意味	当該年度に更新した管路延長の割合を表す指標で、管路の更新ペースや状況を把握できます。																		
算出式	$\frac{\text{当該年度に更新した管路延長}}{\text{管路延長}} \times 100$																		
とかがわ町の状況	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H30</th> <th>R01</th> <th>R02</th> <th>R03</th> <th>R04</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>とかがわ</td> <td>0.86</td> <td>0.04</td> <td>1.61</td> <td>0.56</td> <td>0.84</td> </tr> <tr> <td>平均値</td> <td>0.43</td> <td>0.42</td> <td>0.44</td> <td>0.50</td> <td>0.40</td> </tr> </tbody> </table>		H30	R01	R02	R03	R04	とかがわ	0.86	0.04	1.61	0.56	0.84	平均値	0.43	0.42	0.44	0.50	0.40
	H30	R01	R02	R03	R04														
とかがわ	0.86	0.04	1.61	0.56	0.84														
平均値	0.43	0.42	0.44	0.50	0.40														
評価	類似団体とほぼ同等の数値ではありますが、経年化率が高いため更新をさらに進める必要があります。																		
課題	管路の耐用年数を踏まえ、管路の重要度や老朽度を考慮した適切な管路更新を行う必要があります。																		